

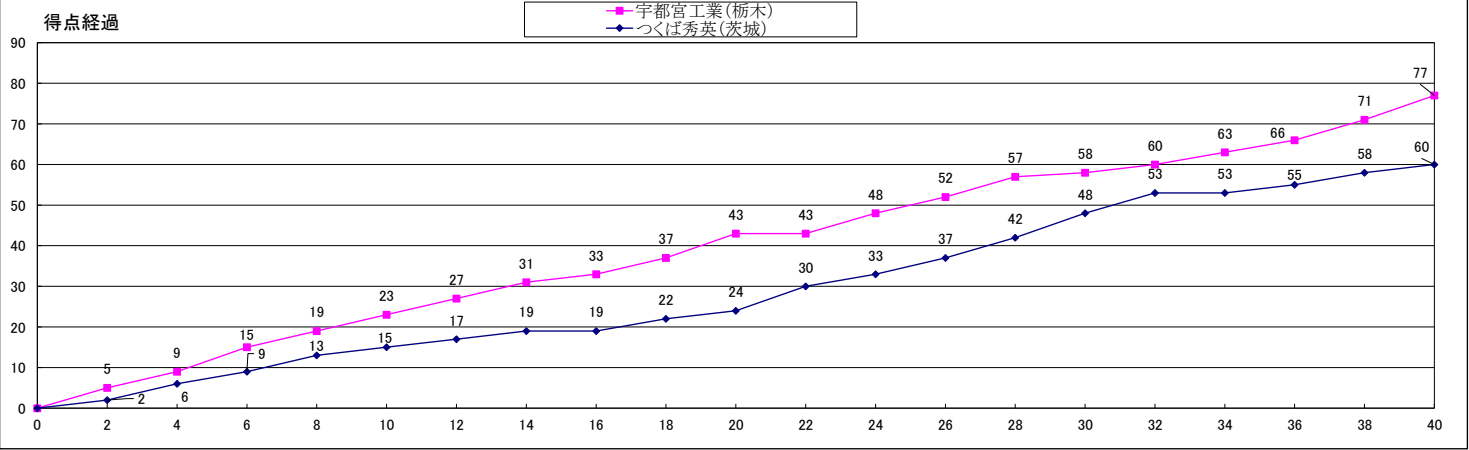
試合No.	B4	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会										
		期 日	令和5年2月12日(日)				会 場		小田原アリーナ				
男子準決勝戦		CC	佐藤 誠			U1		久保 知仁		U2		大庭 英裕	
		チーム名				1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score	
		つくば秀英(茨城)				15	9	24	12			60	
		宇都宮工業(栃木)				23	20	15	19			77	

つくば秀英(茨城)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
持丸 怜羽	* 4	17	0	2	0%	8	12	67%	1	2	50%	2	5	4	1	0	1	3
親見 悠希	* 5	3	1	4	25%	0	2	0%	0	0		4	2	0	0	1	0	0
塚本 康介	* 6	7	0	0		3	6	50%	1	1	100%	3	2	0	0	1	2	1
宮越 温生	* 7	3	1	16	6%	0	2	0%	0	0		1	3	5	0	0	0	3
仲 柊哉	* 8	20	6	16	38%	1	2	50%	0	0		2	5	0	0	0	1	2
塩澤 友章	9																	
朝日 開路	* 10	8	2	5	40%	1	3	33%	0	2	0%	0	3	3	2	1	0	4
高野 拳太	11																	
早川 信我	12																	
佐々木 駿輔(CAP)	13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
小野 次郎	14																	
黒澤 修太郎	15	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
中尾 陽斗	16																	
三澤 舜	17																	
杉山 康輔	18	2	0	7	0%	1	2	50%	0	0		0	0	0	0	1	1	0
コーチ 稲葉 弘法																		
合 計		60	10	51	20%	14	29	48%	2	5	40%	12	20	12	3	4	5	13

宇都宮工業(栃木)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
大谷 鴻太(CAP)	* 4	21	4	14	29%	2	2	100%	5	6	83%	0	6	3	1	0	0	3
佐藤 壮流	* 5	4	0	0		2	3	67%	0	0		0	4	3	0	0	1	0
山川 大翔	* 6	6	0	3	0%	3	6	50%	0	0		0	2	0	0	0	1	1
石川 晃希	* 7	40	0	1	0%	17	27	63%	6	11	55%	2	11	3	2	2	3	3
寺内 幸成	* 8	4	0	0		2	4	50%	0	0		1	7	0	0	0	0	0
大里 知輝	9	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
田辺 真之介	10	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
櫻井 千尋	11																	
小平 陸斗	12																	
高野 莉玖	13																	
檜山 大空	14																	
平田 晃聖	15																	
富田 大翔	16																	
川邊 璃音	17																	
松本 楽生	18																	
コーチ 高崎 徹																		
合 計		77	4	18	22%	27	43	63%	11	17	65%	3	30	9	3	2	5	7



戦評

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。宇都宮工業は#4、#5の3ptsで加点していく。つくば秀英はpickプレーから着実にインサイドを攻め加点していく。宇都宮工業は2-2-1ゾーンプレスからブレイクで差を広げていく。残り3分20秒、9-19で宇都宮工業がリードしたところで、つくば秀英がたまたまタイムアウト。つくば秀英はゾーンブレイクを試みるもシュートを決めきれず、宇都宮工業8点リードで1Q終了。つくば秀英15 - 23 宇都宮工業

2Q 宇都宮工業はマンツーマンディフェンスとゾーンディフェンスのチェンジングディフェンス、つくば秀英はマンツーマンディフェンスでスタート。宇都宮工業は#7を起点に得点を重ねていく。つくば秀英も積極的にリングヘアタックし加点していくが、アウトサイドのシュートが決まらず苦しい展開。残り2分54秒、宇都宮工業13点リードのところで、つくば秀英2回目のタイムアウト。つくば秀英は2-2-1ゾーンプレスで流れを引き戻そうとするが、宇都宮工業#7のlon1での加点を止められず、宇都宮工業19点リードで2Q終了。つくば秀英24 - 43 宇都宮工業

3Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。ただし、つくば秀英は#10、#5の連続3ptsが決まり勢いづくが、宇都宮工業も#4の3ptsやlon1で流れを渡さない。つくば秀英は#8の連続3pts、#4のリバウンドシュートで差を縮めていく。終了間際にも#10の3ptsが決まり、つくば秀英は10点差まで追いつけた。つくば秀英 48 - 58 宇都宮工業

4Q つくば秀英は#8の3ptsや連攻で加点していく。宇都宮工業も#7のインサイドプレーで加点していく。つくば秀英はアウトサイドシュートを中心に攻めていくが、なかなか決めきれず重い展開になっていく。宇都宮工業は#7のlon1、バスケットカウントで流れを渡さない。つくば秀英も最後までディフェンスを頑張る、積極的に3ptsを狙い続けるが決めきれず、最後は17点差をつけ宇都宮工業が勝利した。つくば秀英 60 - 77 宇都宮工業